

コロナ禍の早期収束に向け、 いのちと生活と雇用を守り抜きます。

コロナ感染症対策の補正予算の審議を含む、仙台市議会第2回定例会が6月25日終了しました。妊産婦を対象にしたウィルス検査等の実施、地域経済対策として商店街限定のプレミアム商品券の発行。さらに交流人口の回復へ向け、宿泊促進キャンペーン(市民を対象に秋保・作並温泉で利用可能)の実施など、経済の回復を見据えた対応策を今後実施して参ります。

先般の休業要請や外出自粛などにより、家庭で過ごす時間が増え、水道の使用量も増加傾向にあり、家計の圧迫が懸念されます。この対策として公明党仙台市議団が強く要望し、7月・8月検針分の水道基本料金と下水道基本使用料を減免することが決定しました(申請は不要です)。

コロナ禍の影響で3ヶ月に及ぶ学校の休校、外出の自粛により、表面上元気でも大きな影響を受けている児童生徒の心のケアが本当に大事であります。家庭・学校はもちろんのこと、地域や社会全体で子どもたちを守ること、不安を払拭させることが重要です。

学校再開に伴う環境整備についても緊急要望を行い、エアコン未設置の小学校には、7月中旬までに仮設のルームエアコン設置で乗り切る事になりました。併せて、杜のひろばへのエアコン設置、3密を考慮しての修学旅行・野外活動等への財政支援(バス借上げ費用)、冬期の避難所対応としての灯油の備蓄についても、要望しました。また、第2波、第3波が懸念される中、台風シーズンを迎える事となり、地震や災害発生に備えた対策も喫緊の課題であります。市内



避難所となる学校の備品倉庫の点検

の避難所の点検・調査活動を行い、備蓄や課題等を確認(写真)。今後の避難所運営に反映してまいります。コロナ禍の早期収束に向け、いのちと生活と雇用を守り抜く支援施策の実行を今後も進めてまいります。

仙台市議会議員

佐々木まゆみ





総務財政委員会にコロナ対策等審議

通常、常任委員会は1日で審議が終了しますが、コロナ対策やコロナ禍における避難所運営等に関する審議を更に深掘りするため、6月は2日間にわたり行われました。



公明党仙台市議団として第5次の緊急要望（6月）

「事業・雇用の現場を守る」「医療・介護の現場を守る」「地域・生活の現場を守る」「学校・避難所の現場を守る」との4つの観点から18項目にわたり要望。国の第2次補正予算成立も見据え、確に手を打つことで、コロナ禍第2波、第3波に備えていくことを訴えました。



学校環境整備に関する緊急要望

要望の一つとして、新型コロナウイルス感染防止に尽力する方々への感謝とエールをこめて、青葉城址の伊達政宗像にライトアップを提案、ブルーライトアップされました。



側溝とゴミ集積所の整備（幸町1丁目）
地域の方の要望で側溝とゴミ集積所の整備が実現しました。



避難所の調査活動

(仙台高校・仙台市工業高等学校)
三密を避ける避難所運営について、学校関係者と意見交換しました。学校・地域との連携が急務であると実感しました。



給付金について事業者の説明

佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。

平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在3期目。

【仙台市議会】

議会運営委員会副委員長、総務財政委員会副委員長、
スポーツ振興調査特別委員会委員。

